

経営比較分析表（令和5年度決算）

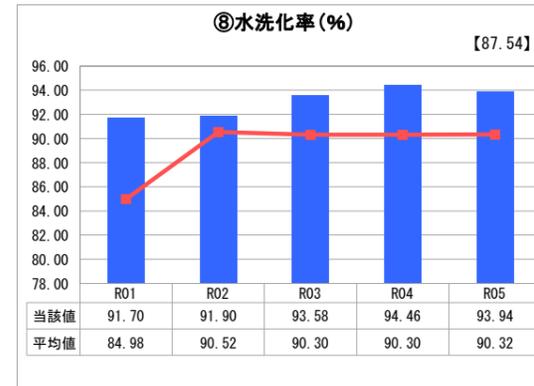
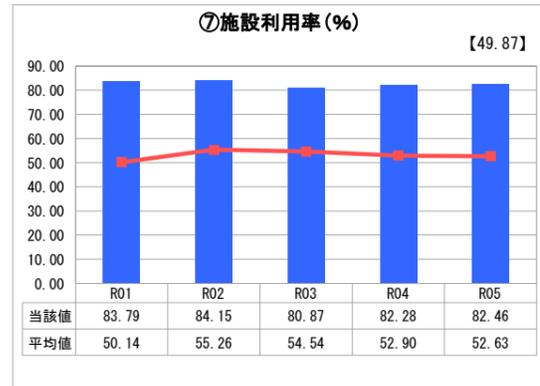
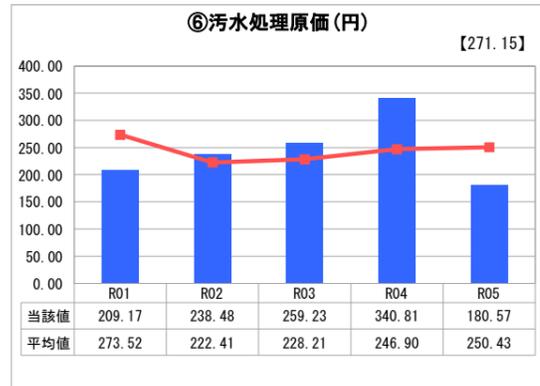
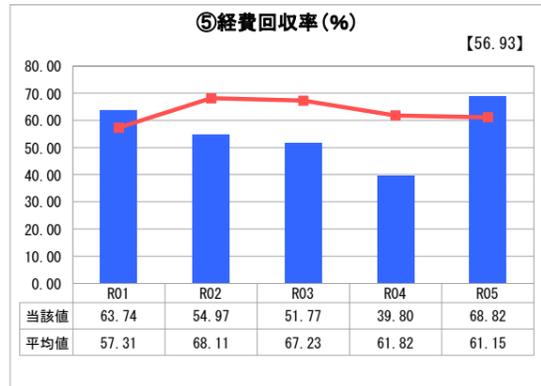
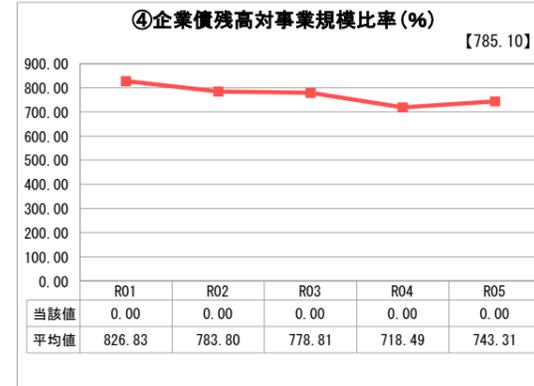
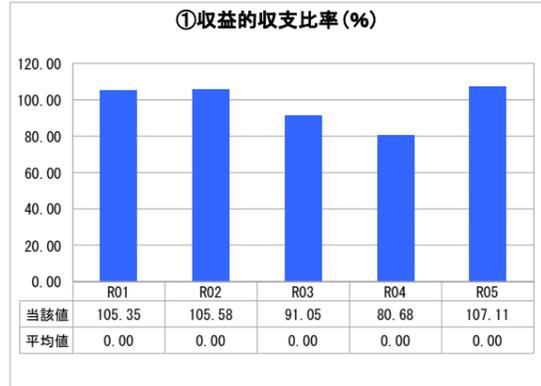
埼玉県 鴻巣市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	2.17	91.24	3,025

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
117,582	67.44	1,743.51
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
2,557	1.97	1,297.97

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

「①収益的収支比率」令和6年度より公営企業会計に移行したことに伴い、打ち切り決算となっている。このため、総費用が減少したことで比率が上昇した。黒字化を達成するため、引き続き接続率の向上と費用の削減に努める。

「④企業債残高対事業規模比率」全て公費負担のため0%であり、類似団体平均値743.31%と比較して極めて低く、良好な状態である。

「⑤経費回収率」令和6年度より公営企業会計に移行したことに伴い、打ち切り決算となっている。このため、総費用が減少したことで前年度から比率が大きく上昇しており、類似団体平均値を上回っている。①と同様、使用料の確保と維持管理費用の見直し・削減を進め、比率向上に努める。

「⑥汚水処理原価」年間収水量が減少したものの、修繕費の減少等により汚水処理原価は大きく減少しており、類似団体平均値を下回っている。①、⑤と同様、計画的な維持管理に努め、経費削減に取り組む。

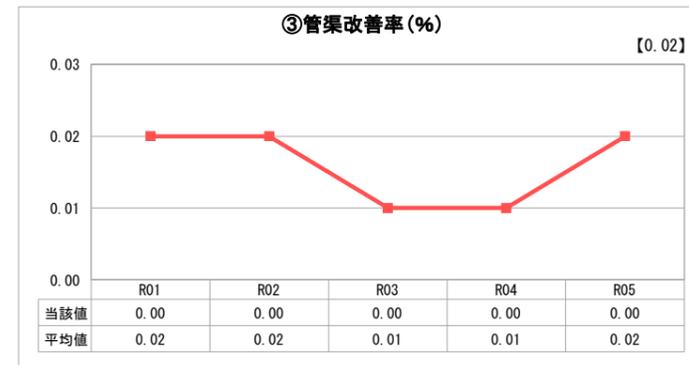
「⑦施設利用率」類似団体平均値と比較し高い数値を維持しており、今後も適切な施設規模を維持し、効率的な運営を継続する。

「⑧水洗化率」類似団体平均値と比較し高い数値を維持しており、引き続き未接続者への個別訪問等により水洗化率向上に努める。

2. 老朽化の状況について

「③管渠改善率」管渠の更新・改良等は実施しておらず、0%であるが、処理施設については、平成23年度、平成24年度に笠原地区処理施設、平成30年度、令和元年度に笠原第2地区処理施設の改修工事を行っている。

2. 老朽化の状況



全体総括

接続率の向上による使用料の増収や適切な施設の維持管理による汚水処理原価の削減に努め、収益的収支比率や経費回収率の向上など、経営の健全化を図ることとする。

また、最適整備構想を踏まえ、各施設の劣化状況による優先度を把握した段階で、工事費の平準化や長寿命化の効率的な改修を検討することとする。

令和6年度より地方公営企業法の一部適用し法適用事業となった。また、経営戦略の見直しを予定しており、資産をはじめとする経営状況を比較可能な形で把握し、安定したサービス提供のため、持続可能な事業計画を検討する。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。